

令7 高等学校商業（6枚のうち1）

（解答はすべて、解答用紙に記入すること）

I 次の問いに答えなさい。

1 地域住民が主体となり、地域が抱える課題をビジネスの考え方によって解決しようとする活動として適切なものを、次のア～エから1つ選んで、その符号を書きなさい。

ア 地域ブランディング イ コミュニティ・ビジネス ウ フィンテック エ ニューツーリズム

2 競合企業と比較して独自性が高く、他社が容易に模倣できない製品やサービスを提供できる能力として適切なものを、次のア～エから1つ選んで、その符号を書きなさい。

ア コア・コンピタンス イ コンテンツ ウ コンフリクト エ コミットメント

3 貿易取引において、買い手から売り手に対して輸入したい商品の照会を行う「引き合い」を意味する英語として適切なものを、次のア～エから1つ選んで、その符号を書きなさい。

ア Acceptance イ Offer ウ Inquiry エ Lading

4 一人ひとりの移動ニーズに対応して、複数の移動サービスを最適に組み合わせて検索、予約、決済などを一括で行うサービスとして適切なものを、次のア～エから1つ選んで、その符号を書きなさい。

ア MICE イ MaaS ウ マイクロツーリズム エ パークアンドライド

5 人の知覚により認識できるもののうち、文字、図形、記号、立体的形状もしくは色彩またはこれらの結合、音その他政令で定めるものについて、事業者が業として商品または役務（サービス）との関係で使用できる知的財産権として適切なものを、次のア～エから1つ選んで、その符号を書きなさい。

ア 意匠権 イ 実用新案権 ウ 特許権 エ 商標権

6 地形図や航空写真、ハザードマップなどの情報が提供されている地理情報システムとして適切なものを、次のア～エから1つ選んで、その符号を書きなさい。

ア GIS イ GUI ウ GPS エ SEO

7 デザイン思考の5段階において、概念化の次に行うプロセスとして適切なものを、次のア～エから1つ選んで、その符号を書きなさい。

ア テスト イ 定義 ウ プロトタイプ エ 共感

8 会社法における財務諸表に含まれないものを、次のア～エから1つ選んで、その符号を書きなさい。

ア 貸借対照表 イ 損益計算書 ウ 株主資本等変動計算書 エ キャッシュ・フロー計算書

II 次の①～③にあてはまる会社を、あとの資料中のA社～C社からそれぞれ1つ選んで書きなさい。

- ① 短期の支払能力が最も高い会社
- ② 自己資本比率による安全性が最も高い会社
- ③ 総資本利益率による収益性が最も高い会社

資料

（単位：円）

	A社	B社	C社
流動資産	8,000,000	22,400,000	26,000,000
流動負債	10,000,000	14,000,000	13,000,000
当期純利益	2,280,000	1,500,000	1,680,000
総資本	38,000,000	50,000,000	42,000,000
自己資本	15,200,000	35,000,000	21,000,000

III 次の問いに答えなさい。

1 次の資料1は、平成30年に告示された高等学校学習指導要領の「商業」の目標である。資料中の（①）～（④）に入る適切な語句を、それぞれ漢字で書きなさい。

資料1

商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、ビジネスを通じ、地域産業をはじめ経済社会の健全で（①）な発展を担う職業人として必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 商業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する（②）を身に付けるようにする。
- (2) ビジネスに関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ（③）に解決する力を養う。
- (3) 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、ビジネスの創造と（④）に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

2 次の資料2は、平成30年に告示された高等学校学習指導要領の「商業」の「各科目にわたる指導計画の作成と内容の取扱い」の一部である。資料中の（①）～（④）に入る適切な語句を、それぞれ漢字で書きなさい。

資料2

2 内容の取扱いに当たっては、次の事項に配慮するものとする。

- (1) ビジネスに関する課題について、協働して分析、考察、（①）を行い、解決策を考案し地域や産業界等に提案するなど（②）の充実を図ること。
- (2) コンピュータや情報通信ネットワークなどの（③）を図り、学習の（④）を高めるよう工夫すること。

令7 高等学校商業 (6枚のうち2)

(解答はすべて、解答用紙に記入すること)

IV 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

独占禁止法は、a事業者が他の事業者の事業活動を排除または支配して、一定の取引分野の競争を実質的に制限することを禁止している。また、b同業者や業界団体で生産数量・販売数量・価格などを取り決め、お互いに市場で競争を行わないようにする行為や、不公正な取引方法を用いることを禁止している。例えば、c自己の地位を利用して、店舗の新規開店の際に、取引先の従業員を通常の費用を支払わずに派遣させる行為などが考えられる。独占禁止法を運用するために設置された()は、このような違反行為に対して、当該行為の差止めや当該行為を排除するために必要な措置を命じることができる。

- 1 下線部 **a** を何というか、漢字4字で書きなさい。
- 2 下線部 **b** は「不当な取引制限」を指すが、このような事業者間の協定を何というか、カタカナ4字で書きなさい。
- 3 下線部 **c** の取引方法をあらわす語句として適切なものを、次のア～エから1つ選んで、その符号を書きなさい。
ア 共同の取引拒絶 イ 差別対価 ウ 不当廉売 エ 優越的地位の濫用
- 4 文中の()に入る適切な機関の名称を、漢字7字で書きなさい。

V 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

製品の売上目標を達成し利益を得るには、一定期間にわたる販売目標や販売活動、売上高予算など販売についての計画を立案する必要がある。この計画のことを販売計画といい、想定される販売価格で製品がどの程度販売できるかを予測することを販売予測という。販売予測を行う際には、製品の市場需要の規模がどれだけあるのかを確定しておかなければならない。新製品の場合には、一般にさまざまな指数を用いて市場需要の規模を推定することが多く、これを(①)法という。

市場全体の需要を把握したら、自社製品がどの程度売れるのかを予測する。このとき、過去の売上高の実績に基づいて予測する方法を(②)といい、主な方法には、(③)と指数平滑法がある。(③)は、期間を1単位ずつずらしながら平均値を計算して売上を予測する方法で、指数平滑法は直近の売上に「重み付け」を行い、販売予測する方法である。

- 1 文中の(①)に入る適切な語句を、漢字4字で書きなさい。
- 2 文中の(②)、(③)に入る語句として適切なものを、次のア～カからそれぞれ1つ選んで、その符号を書きなさい。ただし、同じ記号には同じ語句が入る。
ア SWOT分析 イ 時系列分析 ウ ABC分析
エ 総平均法 オ クラスタ分析 カ 移動平均法

- 3 次の表は、D社の製品別売上である。文中の下線部の方法によってD社の2024年度の売上高の予測を行うとき、売上高予測について述べた文として適切なものを、あとのア～エから1つ選んで、その符号を書きなさい。ただし、あとの計算式を使い、重み付け $\alpha = 0.8$ とし、計算する。また、計算の最終で百万円未満は切り捨てる。

表 D社の製品別売上 (単位：百万円)

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
製品X	50,987	51,288	51,546	53,075	55,372

※D社の決算資料より作成

計算式

「 $\alpha \times$ 前期の実績値 $+$ ($1 - \alpha$) $\times \alpha \times$ 前々期の実績値 $+$ ($1 - \alpha$) $\times (1 - \alpha) \times \alpha \times$ 3期前の実績値」

- ア 2024年度の売上高予測は、2023年度のD社の製品別売上より10億円未満の増加である。
- イ 2024年度の売上高予測は、2023年度のD社の製品別売上より10億円以上の増加である。
- ウ 2024年度の売上高予測は、2023年度のD社の製品別売上より10億円未満の減少である。
- エ 2024年度の売上高予測は、2023年度のD社の製品別売上より10億円以上の減少である。

VI 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

国や地方自治体が観光振興を実現するための方針や取り組みのことを、観光政策という。日本の現在の観光政策は、2007年に施行された(①)推進基本法が基盤となっており、2017年には、主に外国人が日本を訪れる旅行やその観光客である(②)を含めた日本の観光に関する基本的な方針や目標が、(①)推進基本計画で定められた。

地方自治体の観光政策では、観光地への来訪を促したり、地域のイメージを向上させたりするための情報発信を行う。また、a主に地方自治体が、地域のプロモーションを目的に、現地に行かなくても地域の名産品・特産品などを購入できる店舗を開設している。

このような政策をとる一方で、b観光客の数が地域の受け入れ可能な限度を超え、地域住民や自然環境、観光客などに負の影響が生じることが問題となっている。

- 1 文中の(①)に入る適切な語句を、漢字4字で書きなさい。ただし、同じ記号には同じ語句が入る。
- 2 文中の(②)に入る適切な語句を、カタカナ6字で書きなさい。
- 3 下線部 **a** を何ショップというか、カタカナ4字で書きなさい。
- 4 下線部 **b** の現象を何というか、カタカナ9字で書きなさい。

令7 高等学校商業 (6枚のうち3)

(解答はすべて、解答用紙に記入すること)

VII 次の資料は、ある学校のプレゼンテーションの評価について、表計算ソフトウェアを使って作成したものである。あとの問いに答えなさい。なお、資料中の※印は、値の表記を省略している。

資料

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R
1	プレゼンテーション評価表												学科別集計表					
2	チーム名	学科コード	学科名	表現	資料	新規性	独創性	合計	平均	評価	備考		学科コード	学科名	表現	資料	新規性	独創性
3	ことり	S	商業科	3	5	4	5	17	4.2	※	◎		F	普通科	3.00	3.00	2.33	3.00
4	ひつじ	J	情報科	4	3	3	2	12	3.0	※			S	商業科	※	4.67	3.67	4.67
5	たんぼぼ	F	普通科	3	3	2	3	11	2.7	※			J	情報科	3.50	3.00	4.00	3.50
6	すずらん	S	商業科	5	5	4	5	19	4.7	※	◎							
7	ぶどう	F	普通科	3	4	3	3	13	3.2	※								
8	いちご	J	情報科	3	3	5	5	16	4.0	※	◎							
9	くも	S	商業科	4	4	3	4	15	3.7	※								
10	にじ	F	普通科	3	2	2	3	10	2.5	※								
11																		
12																		

平均	評価	件数
0～2.0	C	0
2.1～3.0	B	※
3.1～4.5	A	※
4.6～5.0	S	※

- 「プレゼンテーション評価表」のセルC3に設定する次の式の①、②に入る関数と数値の組合せとして適切なものを、あとのア～エから1つ選んで、その符号を書きなさい。なお、「プレゼンテーション評価表」の「学科名」は「学科コード」をもとに、「学科別集計表」を参照して表示している。
C3 := ① (B3, \$M\$3:\$N\$5, ②, FALSE)
ア ① HLOOKUP ② 3 イ ① HLOOKUP ② 2 ウ ① VLOOKUP ② 3 エ ① VLOOKUP ② 2
- 「プレゼンテーション評価表」のセルI3に設定する次の式の①に入る関数として適切なものを、あとのア～エから1つ選んで、その符号を書きなさい。なお、「プレゼンテーション評価表」の「平均」は、プレゼンテーション評価の項目である「表現」、「資料」、「新規性」、「独創性」の評価を平均して求めている。ただし、小数第1位未満を切り捨て、小数第1位まで表示している。
I3 := ① (AVERAGE(D3:G3), 1)
ア ROUNDDOWN イ ROUNDUP ウ ROUND エ MROUND
- 「学科別集計表」のセルO4に表示される値を求めなさい。なお、「学科別集計表」は、「学科名」ごと、プレゼンテーション評価の項目ごとに平均を求めている。ただし、小数第2位まで表示している。
- 「評価表」のセルP11に表示される値を求めなさい。なお、「プレゼンテーション評価表」の「評価」は、「平均」をもとに、「評価表」を参照して表示し、「評価表」の「件数」は、「評価」ごとの件数を求めている。
- 参加したチームにアドバイスをするための分析として適切なものを、次のア～エから1つ選んで、その符号を書きなさい。なお、「プレゼンテーション評価表」の「合計」は、「表現」、「資料」、「新規性」、「独創性」の評価を合計して求めており、「備考」は、「合計」における上位3位（降順）以内の場合に◎を表示し、それ以外の場合は何も表示していない。
ア ことりチームは「表現」は優れているが「独創性」が見られないため、独自の視点を取り入れる必要がある。
イ くもチームは「新規性」の項目が優れているため、「新規性」以外の項目を磨くとよい。
ウ いちごチームは上位3チームの中で合計点が最低である。「表現」や「資料」の充実をさせなければならない。
エ すずらんチームの評価合計は最高点である。「独創性」を伸ばすことでより効果的なプレゼンテーションとなる。

VIII ひょうごゴルフ場では、会員管理やプレー管理について、次のようなりレーショナル型データベースを利用している。あとの問いに答えなさい。

会員表

会員ID	名前	住所	会員権の種類	取得年
101	垂水 太郎	神戸市垂水区	平日会員	2020
102	姫路 次郎	姫路市安田	正会員	2021
104	豊岡 梅子	豊岡市中央町	正会員	2022
107	尼崎 桜子	尼崎市東七松町	正会員	2023
109	須磨 三郎	神戸市須磨区	平日会員	2024

プレー表

会員ID	プレー日	スコア
102	6月1日	82
104	6月1日	77
101	6月7日	68
107	6月9日	78
109	6月13日	80
104	6月16日	69
107	6月16日	72
101	6月20日	79
109	6月25日	69
102	6月30日	75

年会費表

会員権の種類	年会費
正会員	20000
平日会員	10000

- このデータベースの表は、第何正規化まで行われているか、数字で書きなさい。
- 「会員表」から住所が神戸市で始まる会員を抽出する場合、次の文中の①に入る適切な語句を、あとのア～エから1つ選んで、その符号を書きなさい。
SELECT * FROM 会員表 WHERE 住所 LIKE '①',
ア 神戸市% イ 神戸市_ ウ _神戸市 エ %神戸市
- 「会員表」から取得年が2021から2024未満の名前を抽出する場合、次の文中の②に入る適切な語句を書きなさい。
SELECT 名前 FROM 会員表 WHERE 取得年 BETWEEN 2021 AND ②
- 「プレー表」からプレーした会員の会員IDと会員IDごとの平均スコアを求める場合、次の文中の③に入る適切な語句を書きなさい。
SELECT 会員ID, AVG(スコア) AS 平均スコア FROM プレー表 ③ BY 会員ID
- 「会員表」に会員IDが110のデータを追加する場合、次の文中の④に入る適切な語句を書きなさい。
④ INTO 会員表 (会員ID, 名前, 住所, 会員権の種類, 取得年) VALUES (110, '洲本 竹子', '洲本市本町', '正会員', 2024)

令7 高等学校商業 (6枚のうち4)

(解答はすべて、解答用紙に記入すること)

IX はんしん商事株式会社(決算日は年1回、会計期間は令和6年4月1日から令和7年3月31日までの1年間)の商品に関する資料をもとに、次の問いに答えなさい。ただし、会計計算規則によること。

- 1 損益計算書に記載される、期末商品棚卸高の金額を求めなさい。
- 2 損益計算書に記載される、商品評価損の金額を求めなさい。
- 3 損益計算書に記載される、売上総利益の金額を求めなさい。
- 4 損益計算書に記載される、営業外費用の棚卸減耗損の金額を求めなさい。

資料

① 元帳勘定残高

繰越商品 ¥530,000 仕入 ¥2,960,000 売上 ¥3,850,000

② 決算整理事項

期末商品棚卸高 帳簿棚卸数量 2,000個 原価 @¥350

実地棚卸数量 1,900個 正味売却価額 @¥330

ただし、i 棚卸減耗のうち、60個は原価性が認められる。原価性がある棚卸減耗損は売上原価の内訳項目とし、原価性がない棚卸減耗損は営業外費用とする。

ii 商品評価損は売上原価の内訳科目とする。

X 篠山製作所は、直接原価計算を行い利益計画を立てている。資料をもとに次期の利益計画を策定することにした。次期において、販売価格、変動費額、固定費額は当期と同一であるとして、次の問いに答えなさい。ただし、仕掛品および製品の在庫はないものとする。

- 1 損益分岐点における売上高および販売数量を、それぞれ求めなさい。
- 2 目標とする営業利益¥300,000を達成するために必要な売上高を求めなさい。
- 3 次期の販売価格を20%値下げするとき、目標とする営業利益¥300,000を達成するために必要な販売数量を求めなさい。
- 4 販売部長の試算によると、③で求めた販売数量は実現不可能であり、販売価格を20%値下げした場合の販売数量の限界は7,000個である。そこで、この販売価格と販売数量を前提とし、固定費を削減することにした。当期と同額の営業利益を達成するために削減しなければならない固定費を求めなさい。

資料

① 当期の売上高 @¥600 × 5,000個 = ¥3,000,000

② 当期の総原価

変動費 @¥300 × 5,000個 = ¥1,500,000

固定費 ¥1,320,000

③ 当期の営業利益 ¥180,000

XI 支店会計が独立している養父商店(個人企業 決算年1回 3月31日)の本支店会計における決算に関する資料をもとに、次の問いに答えなさい。

- 1 支店勘定残高と本店勘定残高の一致額を求めなさい。
- 2 本支店合併後の仕入高を求めなさい。
- 3 本支店合併後の売上原価を求めなさい。

資料

① 3月31日における元帳勘定残高(一部)

	本店	支店
売掛金	¥450,000	¥500,000
繰越商品	¥200,000	¥180,000
支店	¥450,000(借方)	-
本店	-	¥600,000(貸方)
仕入	¥1,230,000	¥820,000

② 決算整理事項(一部)

期末商品棚卸高 本店 ¥480,000

支店 ¥320,000(未達商品は含まれていない)

③ 未達事項

- (1) 本店から支店に発送した商品¥120,000(原価)が、支店に未達である。
- (2) 支店から本店に送付した現金¥100,000が、本店に未達である。
- (3) 本店で回収した支店の売掛金¥370,000が、支店に未達である。

令7 高等学校商業解答用紙 (6枚のうち5)

総計		

高商

I	1		2		3	
	4		5		6	
	7		8			

I		

II	①	社	②	社	③	社
----	---	---	---	---	---	---

II		

III	1	①		②		③	
		④					
	2	①		②		③	
		④					

III		

IV	1		2		3	
	4					

IV		

V	1	①	
	2	②	③
	3		

V		

VI	1	①	
	2	②	
	3		ショップ
	4		

VI		

令7 高等学校商業解答用紙 (6枚のうち6)

VII	1		2		3	
	4		5			

VII		

VIII	1	第 正規化	2		3	
	4		5			

VIII		

IX	1	¥	2	¥
	3	¥	4	¥

IX		

X	1	売 上 高	¥	販 売 数 量	個
	2	¥			
	3	個			
	4	¥			

X		

XI	1	¥	2	¥	3	¥

XI		

令7 高等学校商業模範解答 (6枚のうち5)

総計	200

I	1	イ	2	ア	3	ウ
	4	イ	5	エ	6	ア
	7	ウ	8	エ		

I	16

II	①	C 社	②	B 社	③	A 社
----	---	-----	---	-----	---	-----

II	12

III	1	①	持続的	②	技術	③	創造的
		④	発展				
	2	①	討論	②	言語活動	③	活用
		④	効果				

III	24

IV	1	私的独占	2	カルテル	3	エ
	4	公正取引委員会				

IV	12

V	1	①	市場指数			
	2	②	イ	③	カ	
	3	ウ				

V	16

VI	1	①	観光立国
	2	②	インバウンド
	3	アンテナ ショップ	
	4	オーバーツーリズム	

VI	20

令7 高等学校商業模範解答 (6枚のうち6)

VII	1	エ	2	ア	3	4.00
	4	4	5	ウ		

VII	25

VIII	1	第 3 正規化	2	ア	3	2023
	4	GROUP	5	INSERT		

VIII	25

IX	1	¥ 700,000	2	¥ 38,000
	3	¥ 1,001,000	4	¥ 14,000

IX	20

X	1	売上高	¥ 2,640,000	販売数量	4,400 個
	2	¥ 3,240,000			
	3	9,000 個			
	4	¥ 240,000			

X	15

XI	1	¥ 350,000	2	¥ 2,170,000	3	¥ 1,630,000
----	---	-----------	---	-------------	---	-------------

XI	15